



アーキテクチャ図

GraphQL クエリの同期データメッシュ



GraphQL クエリの同期データメッシュ: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

同期データメッシュ i

GraphQL クエリの同期データメッシュ 1

詳細情報 2

図の履歴 2

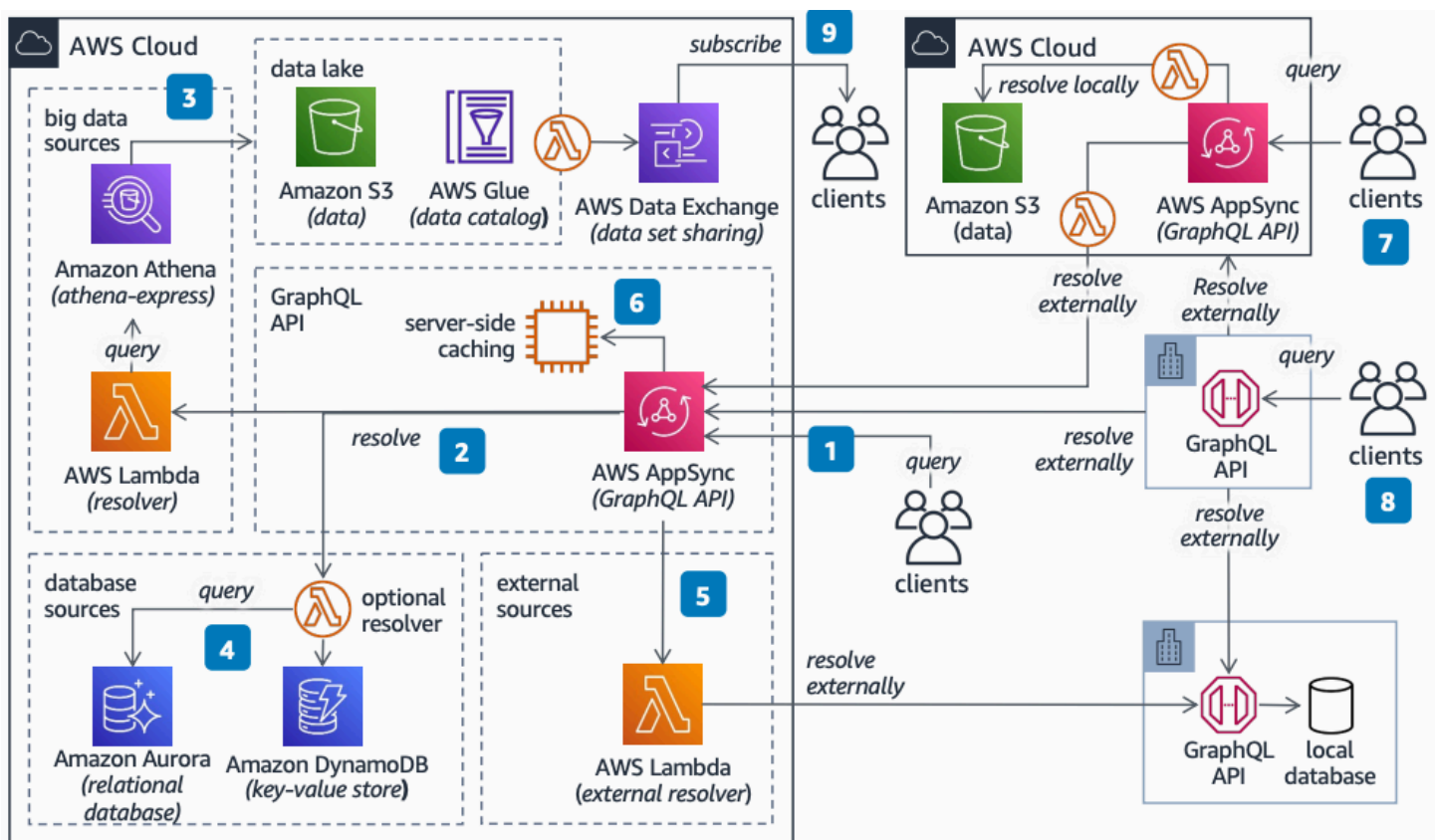
..... iv

GraphQL クエリの同期データメッシュ

公開日: 2022 年 4 月 25 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャは、API コンポジションパターンを使用して、最新の分散型分散データアーキテクチャを構築する方法を示しています。これにより、クライアントは最初にデータレイクやデータウェアハウスに転送することなく、データが存在する場所をクエリできます。また、ドメイン固有のチームがデータを所有し、製品として提供することもできます。

GraphQL クエリの同期データメッシュ



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. [Amazon AppSync](#) で HTTPS API を使用してドメインのスキーマを公開し、ユーザーが GraphQL 構文を使用してドメインのデータを動的にクエリできるようにします。
2. [AWS Lambda](#) 関数で構築されたリゾルバーを組み合わせて、返されるクエリ結果を作成します。

3. データレイクで部分的に利用可能なデータの場合は、[Athena](#) でサポートされている SQL クエリを実行してデータを取得します。athena-[express ライブラリ](#)を使用して [Athena](#) ジョブを非同期的に実行します。
4. データベースで部分的に利用可能なデータについては、Amazon AppSync から直接データを取得するか、Lambda 関数をデータベースのプロキシリゾルバーとして使用してデータを取得します。
5. 外部ソースで部分的に利用可能なデータの場合は、Lambda リゾルバーを使用してリモート HTTP APIs を呼び出してデータを取得します。
6. API のパフォーマンスを向上させるには、Amazon AppSync でサーバー側のキャッシュを有効にします。
7. を使用する他の関係者 AWS は、このアーキテクチャをドメインにレプリケートできます。また、クライアントは を使用して APIs をクエリし GraphQL、内部リゾルバーと外部リゾルバーで結果を作成できます。
8. を使用しない当事者も AWS、他のテクノロジーで構築された GraphQL APIs を使用してドメインを公開できるため、クライアントにシームレスなエクスペリエンスを提供できます。
9. 大規模なデータセットを取得するために、クライアントは代わりに AWS Data Exchange にサブスクライブできます。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更

説明

日付

[初版発行](#)

リファレンスアーキテクチャ
図が最初に公開されました。

2022 年 4 月 25 日

 Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。